

令和5年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No	補助・単独	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	所管課	事業開始 年月日	事業完了 年月日	総事業費 (A)	補助対象事業費 (B)=(C)+(D)+(E)+(F)	国庫補助額 (C)	交付金充当 経費(D)	起債額 (E)	その他 (F)	成果目標	事業実施状況	1.事業効果 ①非常に効果的であった ②効果的であった ③あまり効果的ではなかった ④効果的ではなかった	2事業効果の具体的な理由
1	単	電力・ガス・食料品等 価格高騰重点支援給 付金事業【低所得者 世帯給付金】	①コロナ禍の物価高が続く中で低所得世帯への支援を行うことで、低所得の市民の生活を維持する。 ②低所得世帯への給付金に充当する。 ③扶助費 139,680千円 令和5年度住民税非課税世帯 30千円×4,648世帯 家計急変世帯 30千円×8世帯 ④令和5年度住民税均等割非課税世帯(4,648世帯) 令和5年度の家計急変世帯(8世帯)	社会福祉課	R5.6.1	R5.11.10	139,680,000	139,680,000	0	139,680,000			R5住民税均 等割非課税世 帯への給付率 100%	支給件数 4,656件、139,680,000円 給付率:94.9%	②効果的であった	物価高騰の負担感が大きい低所得世帯への生活支援に繋がった。
2	単	電力・ガス・食料品等 価格高騰重点支援給 付金事業(事務費)	①コロナ禍の物価高が続く中で低所得世帯への支援を行うことで、低所得の市民の生活を維持する。 ②低所得の市民の生活を維持するために必要な事務経費に充当する。 ③ 職員手当等 ・超過勤務手当 @2,500×1,680h=4,200千円 需用費 ・消耗品費 1,336千円 役務費 ・郵送料 @120×5,300通=636千円 @100×5,300通=530千円 @84×5,350通=450千円 ・広告料 @34,500×1.1×2社×2回=152千円 @150,000×1.1×1社×2回=330千円 ・手数料 @110×5,350件=589千円 委託料 ・電算処理委託料 @3,645,000×一式=3,645千円 ④令和5年度住民税均等割非課税世帯(4,648世帯) 令和5年度の家計急変世帯(8世帯)	社会福祉課	R5.6.1	R6.2.21	5,770,179	5,770,179	0	5,770,179			R5住民税非 課税世帯への 給付率100%	職員手当等 2,099,107円 需用費 584,243円 役務費 1,578,179円 委託料 1,508,650円	②効果的であった	物価高騰の負担感が大きい低所得世帯への生活支援に繋がった。
7	単	生活応援プレミアム 付商品券等事業(プ レミアム分)	①コロナ禍における原油価格・物価高騰の影響を受けている市民の生活を支援するとともに、落ち込んだ消費マインドを喚起し地域経済の回復を図る。 ②市内登録店舗等で利用可能な、50%のプレミアムを付けた商品券及び地域通貨(オカヤベイ)のプレミアム分の経費に充当する。 ③負担金補助及び交付金 ・プレミアム分負担金 5,000円×44,000人分 ④岡谷市民	商業観光課	R5.6.1	R6.3.12	173,731,090	151,274,000	0	151,274,000			市内全世帯に 対する購入割 合80%	プレミアム分負担金 189,731,090円 ※商品券発行総額 575,130,000円 内訳:商品券 570,405,000円 オカヤベイ・フタカード 4,725,000円 利用可能加盟店舗数 商品券 358事業所 オカヤベイ・フタカード 80事業所 消費喚起効果額 573,151,090円 ※購入割合 81.02%	①非常に効果的であった	非常に大きな経済効果を創出し、市内消費の喚起に繋がった。
11	単	生活応援プレミアム 付商品券等事業(プ レミアム分)事業No.7 の通常交付分	①コロナ禍における原油価格・物価高騰の影響を受けている市民の生活を支援するとともに、落ち込んだ消費マインドを喚起し地域経済の回復を図る。 ②市内登録店舗等で利用可能な、50%のプレミアムを付けた商品券及び地域通貨(オカヤベイ)のプレミアム分の経費に充当する。 ③負担金補助及び交付金 ・プレミアム分負担金 5,000円×4,000人分 ④岡谷市民	商業観光課	R5.6.1	R6.3.12	16,000,000	10,622,000	0	10,622,000			市内全世帯に 対する購入割 合80%	プレミアム分負担金 189,731,090円 ※商品券発行総額 575,130,000円 内訳:商品券 570,405,000円 オカヤベイ・フタカード 4,725,000円 利用可能加盟店舗数 商品券 358事業所 オカヤベイ・フタカード 80事業所 消費喚起効果額 573,151,090円 ※購入割合 81.02%	①非常に効果的であった	非常に大きな経済効果を創出し、市内消費の喚起に繋がった。
合計							335,181,269	307,346,179	0	307,346,179	0	0				